

第1部 人口動態 (平成25年中)

1 人口と世帯の概況

(1) 人口の動き

平成25年中の人口増加数は6,223人で、23年中の2,218人、24年中の5,795人に次ぐ戦後3番目に少ない人口増加数になっています。

人口増加数を社会増加数（転入－転出＋その他増減）と自然増加数（出生－死亡）とに分けてみると、社会増加数が4,688人（転入133,553人、転出132,953人、その他増減4,088人増）、自然増加数が1,535人（出生30,753人、死亡29,218人）となっています。平成24年中と比べ、社会増加数は1,353人の増加、自然増加数は925人の減少となっています。

人口増加数の最近の動きをみると、平成7年に人口増加数とその時点で戦後最低の7,049人（社会増加数マイナス6,987人、自然増加数14,036人）を記録した後、8年以降は上昇に転じ、13年は36,405人（社会増加数23,376人、自然増加数13,029人）となりました。その後、19年を除き年々減少し、23年は2,218人（社会増加数マイナス590人、自然増加数2,808人）と大幅に減少しましたが、24年は5,795人（社会増加数3,335人、自然増加数2,460人）、25年は6,223人（社会増加数4,688人、自然増加数1,535人）と増加しました。

一方、平成15年以降の人口動態を男女別にみると、女性の人口増加数が男性を上回っており、25年についても女性5,097人に対して男性1,126人と女性の人口増加数が3,971人上回りました。〔図1-1、図1-2、表1-1、統計表第4表〕

図1-1 人口の増加の推移 (昭和22年中～平成25年中)

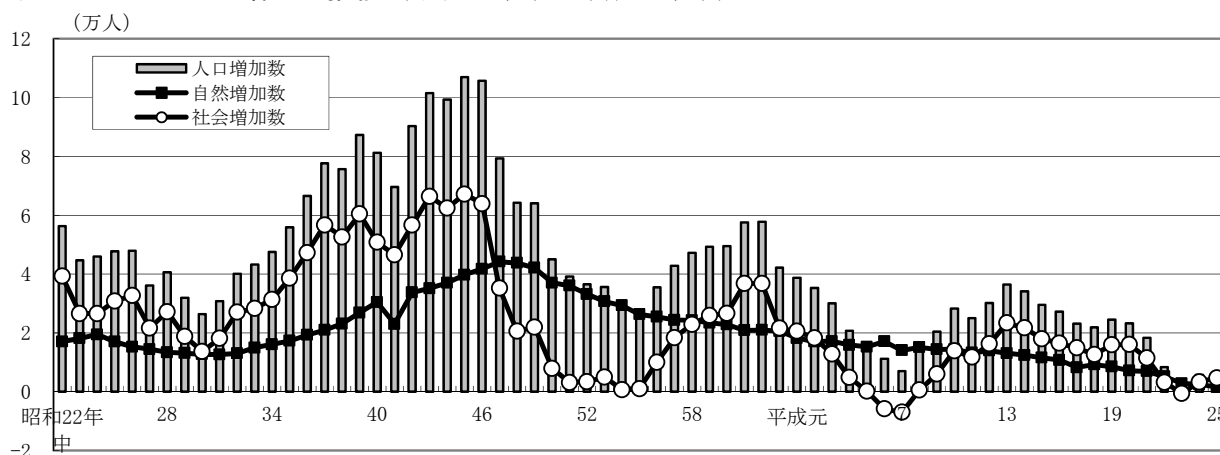


図1-2 男女別の人口動態 (平成15年中～平成25年中)

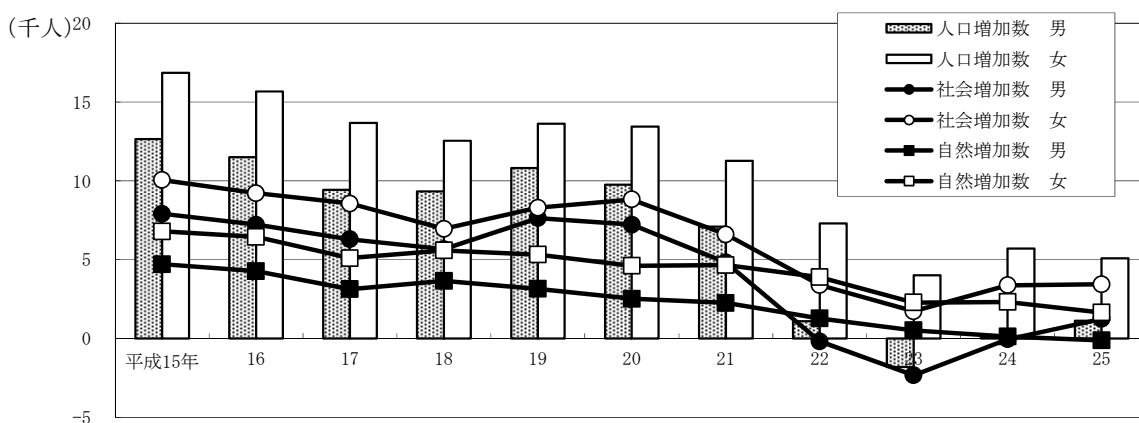


表1-1 人口動態の推移 (昭和22年中～平成25年中)

年 中	人 口 増加数	人 口 増加率 (%)	社 会 動 態				自 然 動 態		
			社 会 増加数	転 入	転 出	そ の 他 増 減	自 然 増加数	出 生	死 亡
昭和22年中	56,312	7.30	39,281	97,015	57,734	—	17,031	27,529	10,498
23	44,697	5.40	26,561	117,218	90,657	—	18,136	26,058	7,922
24	45,951	5.24	26,534	107,732	81,519	321	19,417	27,116	7,699
25	47,758	5.18	30,778	106,592	75,634	△ 180	16,980	24,063	7,083
26	47,938	4.97	32,685	110,147	78,469	1,007	15,253	22,008	6,755
27	36,057	3.56	21,643	94,168	72,688	163	14,414	20,400	5,986
28	40,559	3.87	27,180	93,917	66,429	△ 308	13,379	19,922	6,543
29	31,903	2.93	18,784	91,007	72,705	482	13,119	19,537	6,418
30	26,383	2.35	13,677	82,876	68,915	△ 284	12,706	19,118	6,412
31	30,783	2.67	18,142	80,937	61,617	△ 1,178	12,641	18,717	6,076
32	40,067	3.39	27,042	89,229	61,632	△ 555	13,025	19,736	6,711
33	43,218	3.54	28,282	92,278	63,712	△ 284	14,936	21,303	6,367
34	47,480	3.75	31,386	96,726	64,955	△ 385	16,094	22,220	6,126
35	55,882	4.26	38,610	104,337	64,993	△ 734	17,272	23,272	6,000
36	66,524	4.79	47,218	117,551	69,516	△ 817	19,306	24,710	5,404
37	77,675	5.34	56,702	137,482	80,222	△ 558	20,973	26,647	5,674
38	75,704	4.94	52,624	142,348	89,469	△ 255	23,080	28,617	5,537
39	87,243	5.43	60,386	163,566	102,111	△ 1,069	26,857	32,374	5,517
40	81,221	4.79	50,777	163,100	112,605	282	30,444	37,213	6,769
41	69,546	3.85	46,534	163,137	117,746	1,143	23,012	29,197	6,185
42	90,353	4.82	56,649	176,017	120,813	1,445	33,704	40,433	6,729
43	101,545	5.16	66,421	198,484	133,246	1,183	35,124	42,433	7,309
44	99,352	4.80	62,372	206,825	145,981	1,528	36,980	44,114	7,134
45	106,907	4.93	67,152	223,393	157,019	778	39,755	47,622	7,867
46	105,690	4.67	63,941	228,455	164,481	△ 33	41,749	50,490	8,741
47	79,354	3.35	35,178	206,752	172,834	1,260	44,176	53,562	9,386
48	64,276	2.63	20,531	202,635	183,235	1,131	43,745	53,504	9,759
49	64,035	2.55	21,963	194,347	173,581	1,197	42,072	52,394	10,322
50	44,988	1.75	7,943	174,150	168,068	1,861	37,045	47,353	10,308
51	39,094	1.49	3,091	163,519	162,907	2,479	36,003	46,322	10,319
52	36,569	1.37	3,418	164,186	162,386	1,618	33,151	43,758	10,607
53	35,625	1.32	4,930	162,893	159,161	1,198	30,695	41,625	10,930
54	30,035	1.10	712	164,686	162,397	△ 1,577	29,323	40,306	10,983
55	27,337	0.99	1,043	157,616	156,070	△ 503	26,294	37,977	11,683
56	35,502	1.28	10,032	158,942	149,921	1,011	25,470	37,493	12,023
57	42,756	1.52	18,417	162,855	145,411	973	24,339	36,381	12,042
58	47,155	1.65	22,891	162,049	139,659	501	24,264	37,179	12,915
59	49,315	1.70	25,882	163,354	138,057	585	23,433	36,466	13,033
60	49,471	1.67	26,633	165,318	138,923	238	22,838	36,063	13,225
61	57,605	1.92	36,740	175,943	139,712	509	20,865	34,461	13,596
62	57,776	1.89	36,805	181,661	145,034	178	20,971	34,773	13,802
63	42,157	1.35	21,590	174,968	153,560	182	20,567	35,321	14,754
平成元	38,737	1.23	20,559	177,756	157,841	644	18,178	32,774	14,596
2	35,294	1.10	18,276	181,160	162,949	65	17,018	32,746	15,728
3	30,013	0.93	12,852	175,427	165,019	2,444	17,161	33,651	16,490
4	20,703	0.64	4,820	174,042	169,942	720	15,883	32,896	17,013
5	15,365	0.47	138	170,920	171,532	750	15,227	32,692	17,465
6	11,208	0.34	△ 5,852	167,606	173,949	491	17,060	34,617	17,557
7	7,049	0.21	△ 6,987	161,795	169,462	680	14,036	32,899	18,863
8	15,650	0.47	570	161,504	161,622	688	15,080	33,567	18,487
9	20,373	0.61	6,023	163,280	157,828	571	14,350	33,273	18,923
10	28,262	0.84	13,870	165,655	152,481	696	14,392	34,547	20,155
11	24,979	0.74	11,747	164,918	153,616	445	13,232	33,676	20,444
12	30,161	0.89	16,229	166,939	150,866	156	13,932	34,295	20,363
13	36,405	1.06	23,376	171,197	148,076	255	13,029	33,722	20,693
14	34,074	0.98	21,668	168,252	147,176	592	12,406	33,699	21,293
15	29,509	0.84	17,986	167,648	150,193	531	11,523	33,271	21,748
16	27,176	0.77	16,449	163,112	147,542	879	10,727	33,238	22,511
17	23,119	0.64	14,875	160,213	146,020	682	8,244	31,722	23,478
18	21,874	0.61	12,628	158,738	146,852	742	9,246	33,023	23,777
19	24,439	0.68	15,951	161,065	145,772	658	8,488	33,122	24,634
20	23,191	0.65	16,049	158,311	143,248	986	7,142	32,694	25,552
21	18,362	0.50	11,440	153,945	143,369	864	6,922	32,816	25,894
22	8,389	0.23	3,215	145,701	143,460	974	5,174	32,747	27,573
23	2,218	0.06	△ 590	139,112	139,905	203	2,808	31,296	28,488
24	5,795	0.16	3,335	137,848	137,784	3,271	2,460	31,623	29,163
25	6,223	0.17	4,688	133,553	132,953	4,088	1,535	30,753	29,218

注1) 社会動態、自然動態、人口増加数については各年1月1日～12月31日までの集計数値である。

注2) 人口増加率については、各年1月1日現在の人口に対する増加数の割合である。

注3) 「その他増減」とは、住民基本台帳の記録漏れ又は誤記等を知った際の職権による住民票の記載、消除又は修正による増減、外国人の帰化や国外からの転入による増、国籍喪失による減などをいう。

注4) 市内移動の増減数は、「その他増減」に含めている。

・人口増加数が多く、増加率も高い港北区

人口の動きを行政区別にみると、平成25年中は9区で増加、9区で減少しています。

増加した区では港北区が4,112人で、増加率(1.23%)とともに最も高くなっています。

増加率が高い区は、港北区に次いで鶴見区(1.21%)、都筑区(0.90%)の順になっています。

一方、減少した区では金沢区が1,523人で、減少率(0.74%)とともに最も高くなっています。

減少率が高い区は、金沢区に次いで栄区(0.63%)、港南区(0.49%)の順になっています。

[図1-3、図1-4、表1-2]

図1-3 行政区別人口増加率

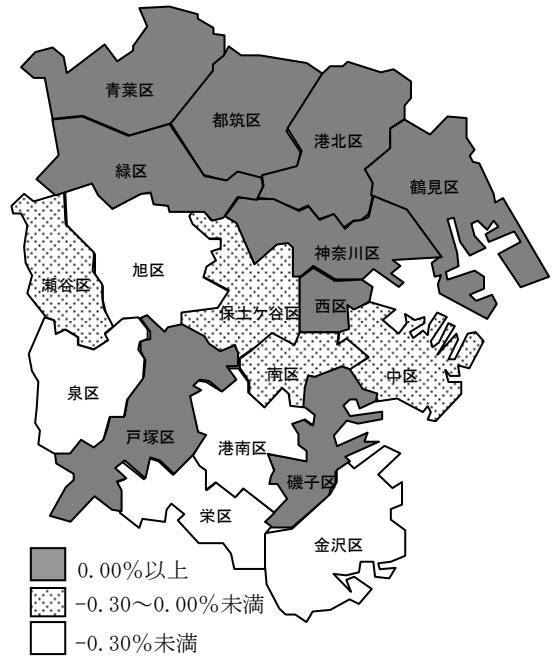


図1-4 行政区別の人口動態 (平成25年中)

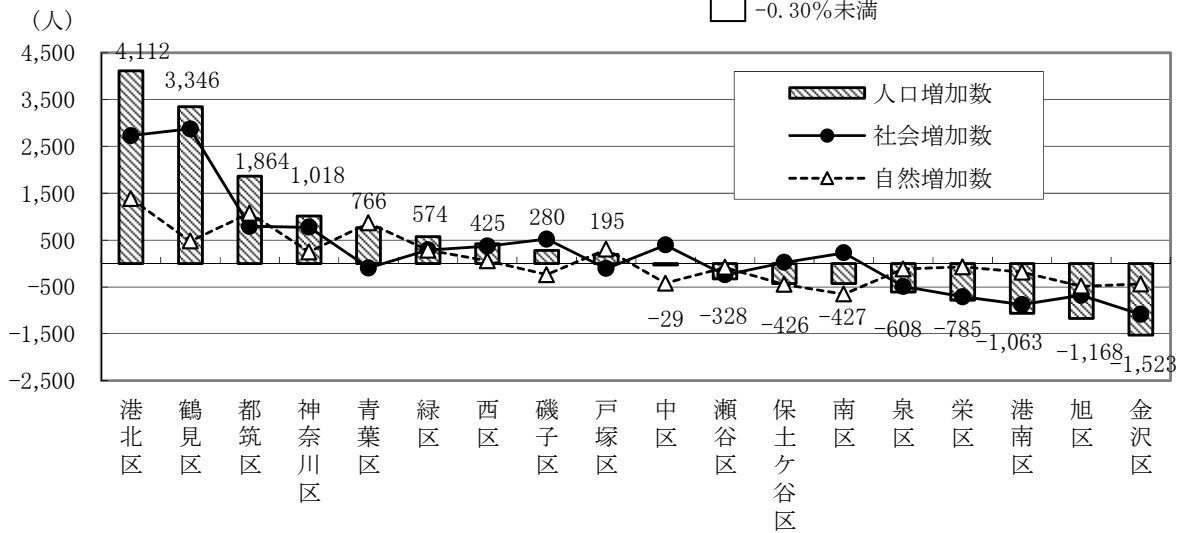


表1-2 行政区別の人口及び人口の増減 (平成25年中)

地域	人口 (1月1日現在)		人口の増減				
	25年	26年	人口増加数	社会増加数	自然増加数	人口増加率	増加率順位
横浜市	3,697,035	3,703,258	6,223	4,688	1,535	0.17	-
鶴見区	276,888	280,234	3,346	2,870	476	1.21	2
神奈川区	233,478	234,496	1,018	772	246	0.44	5
西区	96,826	97,251	425	370	55	0.44	4
中区	147,094	147,065	△ 29	395	△ 424	△ 0.02	10
南区	194,820	194,393	△ 427	226	△ 653	△ 0.22	12
港南区	218,845	217,782	△ 1,063	△ 877	△ 186	△ 0.49	16
保土ヶ谷区	204,716	204,290	△ 426	23	△ 449	△ 0.21	11
旭区	249,728	248,560	△ 1,168	△ 680	△ 488	△ 0.47	15
磯子区	161,688	161,968	280	520	△ 240	0.17	8
金沢区	205,976	204,453	△ 1,523	△ 1,087	△ 436	△ 0.74	18
港北区	334,857	338,969	4,112	2,727	1,385	1.23	1
緑区	178,209	178,783	574	289	285	0.32	6
青葉区	307,078	307,844	766	△ 97	863	0.25	7
都筑区	207,762	209,626	1,864	793	1,071	0.90	3
戸塚区	273,767	273,962	195	△ 109	304	0.07	9
栄区	123,961	123,176	△ 785	△ 711	△ 74	△ 0.63	17
泉区	155,415	154,807	△ 608	△ 491	△ 117	△ 0.39	14
瀬谷区	125,927	125,599	△ 328	△ 245	△ 83	△ 0.26	13

(2) 世帯の動き

・世帯規模は縮小し単身世帯化が進む

平成26年1月1日現在における世帯数は1,618,734世帯で、前年に比べ12,011世帯(0.75%)増加しています。平成25年中の世帯数の動きをみると、転入や世帯分離による増加が142,281世帯、転出や世帯合併による減少が130,270世帯となっています。また、1世帯当たり人員は2.29人で、前年の2.30人よりさらに世帯の規模は縮小しています。

世帯人員別の世帯数の割合は10年前と比較して、1人世帯と2人世帯が増加し、3人以上の世帯が減少しており、単身世帯化や世帯規模の縮小化が進んでいることが分かります。

[図1-5、図1-6、統計表第1表、第6表]

図1-5 世帯数及び1世帯当たり人員の推移 (昭和22年～平成26年)

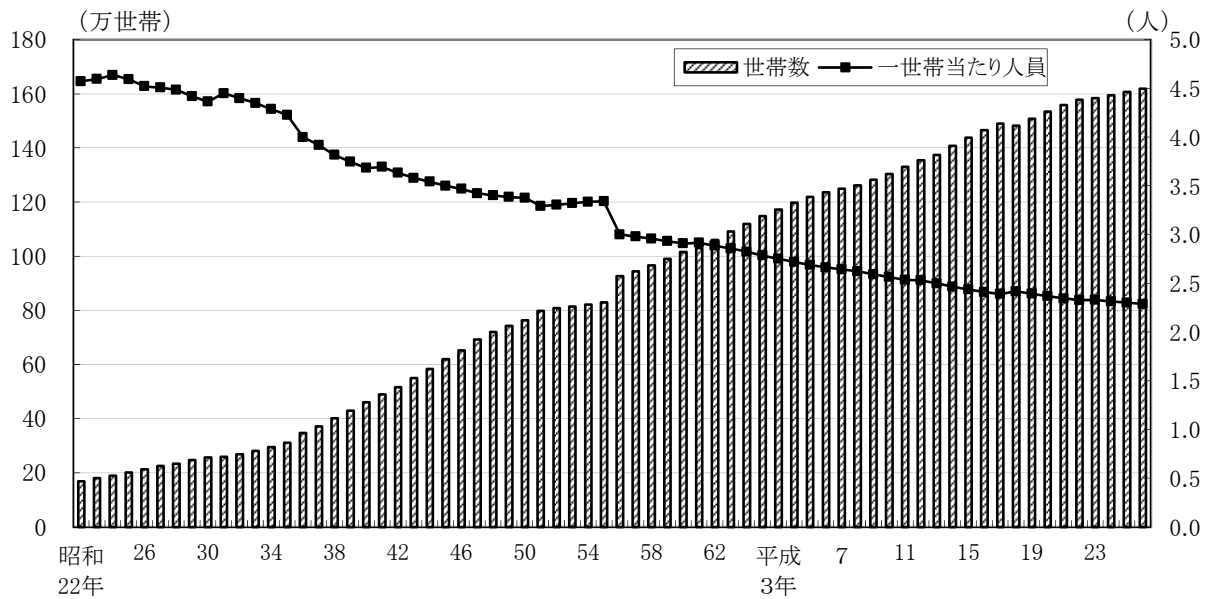
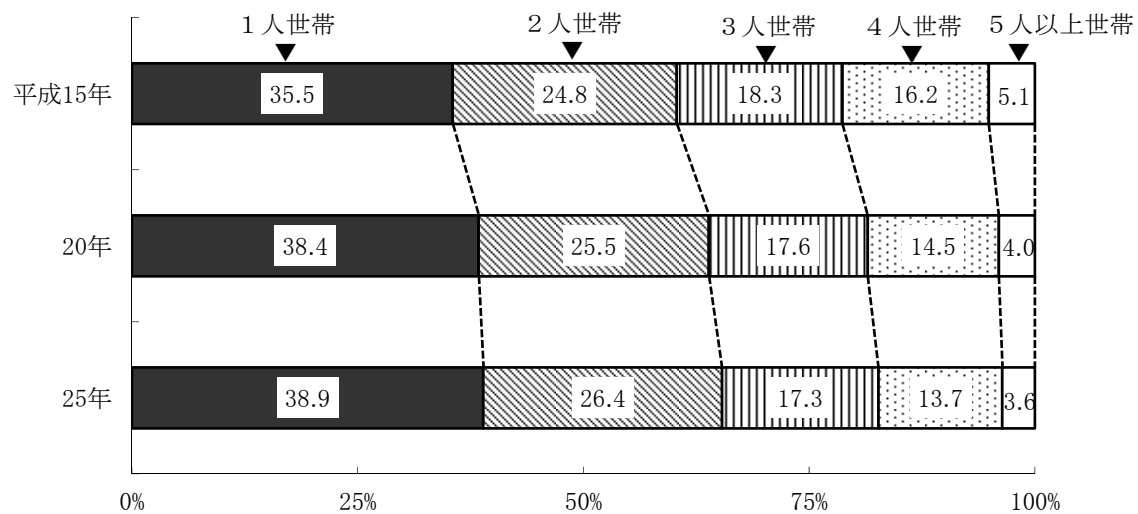


図1-6 世帯人員別世帯数の割合 (平成15年、20年、25年)



注) 数値は、各年9月30日現在の住民基本台帳人口及び外国人登録人口を集計したものである。

・世帯数の増加率が高い鶴見区

世帯数の動きを行政区別にみると、平成25年中は全ての区で増加しています。

増加率が高い区は、鶴見区(1.80%)、港北区(1.56%)、都筑区(1.09%)の順になっており、上位の3区は人口増加率の上位の3区と同じになっています。

[図1-7、表1-3]

図1-7 行政区別世帯数増加率

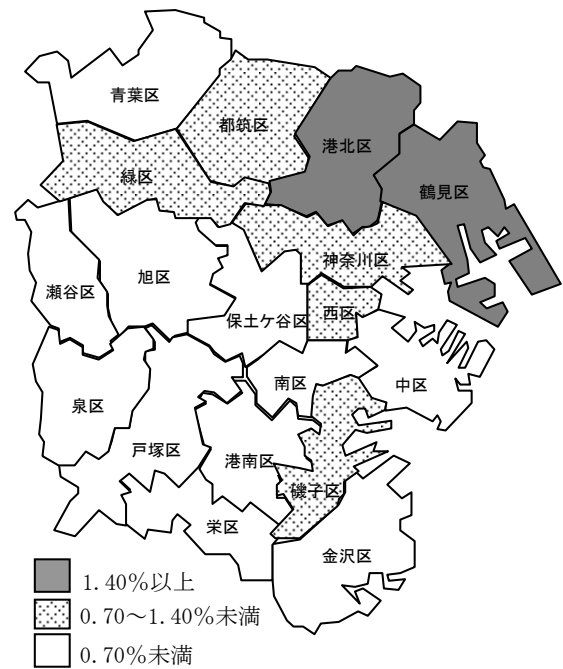


表1-3 行政区別の世帯数及び世帯数の増減 (平成25年中)

地域	世帯数 (1月1日現在)		世帯数の増減		
	25年	26年	世帯数増加数	世帯数増加率	増加率順位
横浜市	1,606,723	1,618,734	12,011	0.75	-
鶴見区	127,136	129,427	2,291	1.80	1
神奈川区	114,797	115,777	980	0.85	5
西区	50,423	50,845	422	0.84	6
中区	76,612	76,886	274	0.36	14
南区	93,251	93,610	359	0.38	13
港南区	90,314	90,355	41	0.05	18
保土ヶ谷区	90,602	91,136	534	0.59	11
旭区	102,089	102,267	178	0.17	16
磯子区	71,189	71,704	515	0.72	7
金沢区	87,026	87,331	305	0.35	15
港北区	157,600	160,065	2,465	1.56	2
緑区	72,398	73,019	621	0.86	4
青葉区	122,917	123,700	783	0.64	9
都筑区	78,286	79,138	852	1.09	3
戸塚区	110,832	111,573	741	0.67	8
栄区	50,934	50,976	42	0.08	17
泉区	60,150	60,514	364	0.61	10
瀬谷区	50,167	50,411	244	0.49	12

2 社会動態

(1) 社会移動の状況

平成25年中の社会移動数（市外移動・市内移動）は339,775人で、24年中に比べ9,336人の減少となっています。

このうち、市内（行政区間）で移動した人は73,269人で、前年に比べ210人の減少となっています。

一方、市外からの転入は133,553人（前年比4,295人減）、市外への転出は132,953人（同4,831人減）で、差引600人（同536人増）の転入超過となっています。

また、移動率（各年の1月1日現在人口に対する割合）をみると、市内移動率は1.98%で前年比0.01ポイント、市外転入率は3.6%で前年比0.1ポイント、市外転出率は3.6%で前年比0.1ポイントの低下となっています。なお、全体の移動率は9.2%で、昭和22年以降で最も低い割合となっています。

市外転入をみると、昭和30年代後半から急激に増加し、44年に20万人を超え、46年に最大の228,455人を記録しました。そして、46年をピークに減少し、55年、56年に15万人台となり、その後、小さく増加と減少を繰り返し、ほぼ同じ水準で推移していましたが、平成22年からは15万人を割り、さらに減少傾向にあります。また、転入超過数は、45年に最大の66,374人となりました。

市外転出は、昭和48年の183,235人をピークに減少傾向となりましたが、60年から再び増加に転じ、平成5年から8年にかけては転入を上回り、昭和22年以来初めて転出超過（社会減）となりました。その後は緩やかな減少傾向にあり、平成23年には再び転出超過（社会減）となりましたが、24年及び25年は転入超過となりました。

市内移動（区間移動）は、昭和39年以降、7万人から9万人台で推移しています。

[図1-8、表1-4]

図1-8 社会動態における転入・転出・市内移動の推移（昭和22年中～平成25年中）

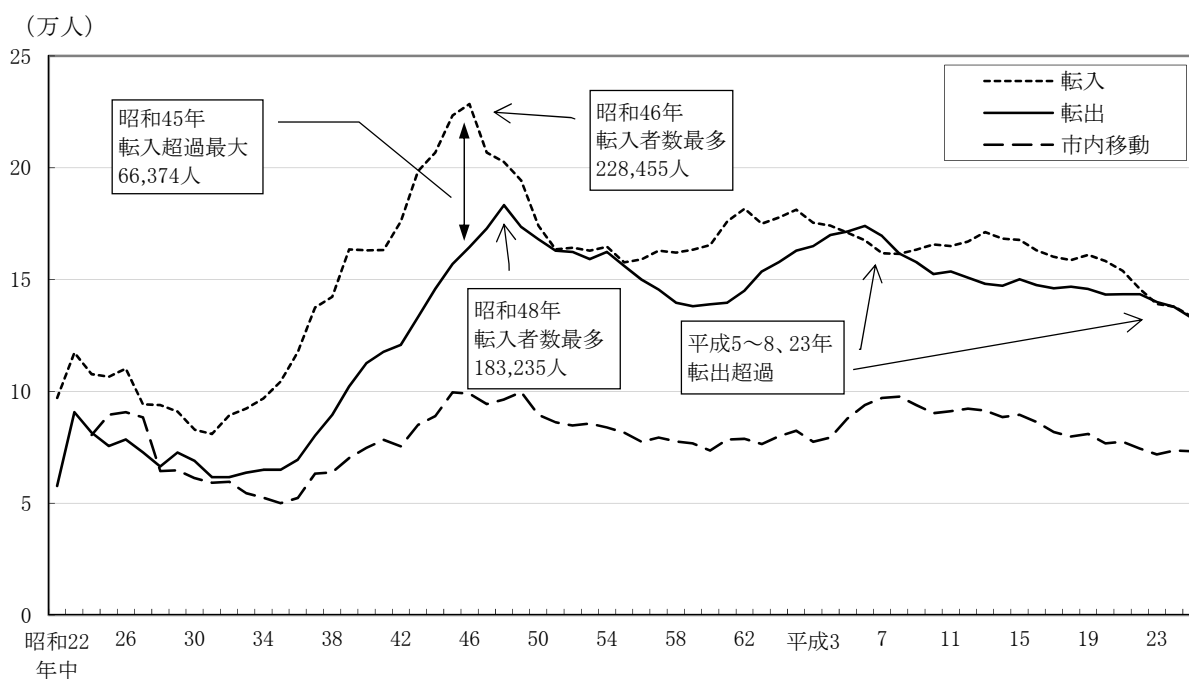


表 1-4 社会移動の推移（昭和22年中～平成25年中）

年 中	社 会 移 動 数					移 動 率 (%)				
	移動総数	市 外 移 動			市内移動	移動率	市 外 移 動			市内移動率
		転入	転出	転入超過数			転入率	転出率	転入超過率	
昭和22年中	154,749	97,015	57,734	39,281	…	20.1	12.6	7.5	5.1	…
23	207,875	117,218	90,657	26,561	…	25.1	14.2	11.0	3.2	…
24	269,824	107,732	81,519	26,213	80,573	30.8	12.3	9.3	3.0	9.2
25	271,813	106,592	75,634	30,958	89,587	29.5	11.6	8.2	3.4	9.7
26	279,343	110,147	78,469	31,678	90,727	28.9	11.4	8.1	3.3	9.4
27	255,269	94,168	72,688	21,480	88,413	25.2	9.3	7.2	2.1	8.7
28	224,745	93,917	66,429	27,488	64,399	21.4	9.0	6.3	2.6	6.1
29	228,379	91,007	72,705	18,302	64,667	21.0	8.4	6.7	1.7	5.9
30	213,007	82,876	68,915	13,961	61,216	19.0	7.4	6.1	1.2	5.5
31	201,676	80,937	61,617	19,320	59,122	17.5	7.0	5.4	1.7	5.1
32	210,490	89,229	61,632	27,597	59,629	17.8	7.5	5.2	2.3	5.0
33	210,450	92,278	63,712	28,566	54,460	17.2	7.6	5.2	2.3	4.5
34	214,194	96,726	64,955	31,771	52,513	16.9	7.6	5.1	2.5	4.2
35	219,353	104,337	64,993	39,344	50,023	16.7	7.9	5.0	3.0	3.8
36	239,402	117,551	69,516	48,035	52,335	17.2	8.5	5.0	3.5	3.8
37	281,003	137,482	80,222	57,260	63,299	19.3	9.5	5.5	3.9	4.4
38	295,605	142,348	89,469	52,879	63,788	19.3	9.3	5.8	3.5	4.2
39	335,933	163,566	102,111	61,455	70,256	20.9	10.2	6.4	3.8	4.4
40	350,353	163,100	112,605	50,495	74,648	20.7	9.6	6.6	3.0	4.4
41	359,276	163,137	117,746	45,391	78,393	19.9	9.0	6.5	2.5	4.3
42	372,241	176,017	120,813	55,204	75,411	19.8	9.4	6.4	2.9	4.0
43	416,800	198,484	133,246	65,238	85,070	21.2	10.1	6.8	3.3	4.3
44	441,717	206,825	145,981	60,844	88,911	21.4	10.0	7.1	2.9	4.3
45	479,943	223,393	157,019	66,374	99,531	22.1	10.3	7.2	3.1	4.6
46	491,843	228,455	164,481	63,974	98,907	21.7	10.1	7.3	2.8	4.4
47	473,968	206,752	172,834	33,918	94,382	20.0	8.7	7.3	1.4	4.0
48	482,268	202,635	183,235	19,400	96,398	19.7	8.3	7.5	0.8	3.9
49	467,680	194,347	173,581	20,766	99,752	18.6	7.7	6.9	0.8	4.0
50	431,695	174,150	168,068	6,082	89,477	16.8	6.8	6.5	0.2	3.5
51	412,543	163,519	162,907	612	86,117	15.7	6.2	6.2	0.0	3.3
52	411,369	164,186	162,386	1,800	84,797	15.4	6.2	6.1	0.1	3.2
53	407,700	162,893	159,161	3,732	85,646	15.1	6.0	5.9	0.1	3.2
54	410,976	164,686	162,397	2,289	83,893	15.0	6.0	5.9	0.1	3.1
55	395,284	157,616	156,070	1,546	81,598	14.3	5.7	5.6	0.1	2.9
56	386,286	158,942	149,921	9,021	77,423	13.9	5.7	5.4	0.3	2.8
57	387,663	162,855	145,411	17,444	79,397	13.8	5.8	5.2	0.6	2.8
58	379,342	162,049	139,659	22,390	77,634	13.3	5.7	4.9	0.8	2.7
59	378,216	163,354	138,057	25,297	76,805	13.0	5.6	4.8	0.9	2.6
60	377,760	165,318	138,923	26,395	73,519	12.8	5.6	4.7	0.9	2.5
61	394,164	175,943	139,712	36,231	78,509	13.1	5.9	4.7	1.2	2.6
62	405,426	181,661	145,034	36,627	78,731	13.2	5.9	4.7	1.2	2.6
63	405,032	174,968	153,560	21,408	76,504	13.0	5.6	4.9	0.7	2.5
平成元	415,537	177,756	157,841	19,915	79,940	13.1	5.6	5.0	0.6	2.5
2	426,470	181,160	162,949	18,211	82,361	13.3	5.7	5.1	0.6	2.6
3	417,946	175,427	165,019	10,408	77,500	13.0	5.4	5.1	0.3	2.4
4	423,305	174,042	169,942	4,100	79,321	13.0	5.3	5.2	0.1	2.4
5	430,353	170,920	171,532	△ 612	87,901	13.1	5.2	5.2	△ 0.0	2.7
6	435,396	167,606	173,949	△ 6,343	93,841	13.2	5.1	5.3	△ 0.2	2.9
7	428,411	161,795	169,462	△ 7,667	97,154	13.0	4.9	5.1	△ 0.2	2.9
8	420,775	161,504	161,622	△ 118	97,649	12.7	4.9	4.9	△ 0.0	3.0
9	414,952	163,280	157,828	5,452	93,844	12.5	4.9	4.7	0.2	2.8
10	408,378	165,655	152,481	13,174	90,242	12.2	5.0	4.6	0.4	2.7
11	409,710	164,918	153,616	11,302	91,176	12.1	4.9	4.6	0.3	2.7
12	410,125	166,939	150,866	16,073	92,320	12.1	4.9	4.4	0.5	2.7
13	410,694	171,197	148,076	23,121	91,421	12.0	5.0	4.3	0.7	2.7
14	403,992	168,252	147,176	21,076	88,564	11.6	4.9	4.2	0.6	2.6
15	407,330	167,648	150,193	17,455	89,489	11.6	4.8	4.3	0.5	2.6
16	396,962	163,112	147,542	15,570	86,308	11.2	4.6	4.2	0.4	2.4
17	388,030	160,213	146,020	14,193	81,797	10.9	4.5	4.1	0.4	2.3
18	385,426	158,738	146,852	11,886	79,836	10.8	4.4	4.1	0.3	2.2
19	387,783	161,065	145,772	15,293	80,946	10.8	4.5	4.0	0.4	2.2
20	378,353	158,311	143,248	15,063	76,794	10.4	4.4	3.9	0.4	2.1
21	374,733	153,945	143,369	10,576	77,419	10.3	4.2	3.9	0.3	2.1
22	363,577	145,701	143,460	2,241	74,416	9.9	4.0	3.9	0.1	2.0
23	350,867	139,112	139,905	△ 793	71,850	9.5	3.8	3.8	△ 0.0	1.9
24	349,111	137,848	137,784	64	73,479	9.5	3.7	3.7	0.0	2.0
25	339,775	133,553	132,953	600	73,269	9.2	3.6	3.6	0.0	2.0

注) 市内移動は転入の人数である。また、移動率の算出に用いた人口は各年1月1日現在人口である。

(2) 市外移動

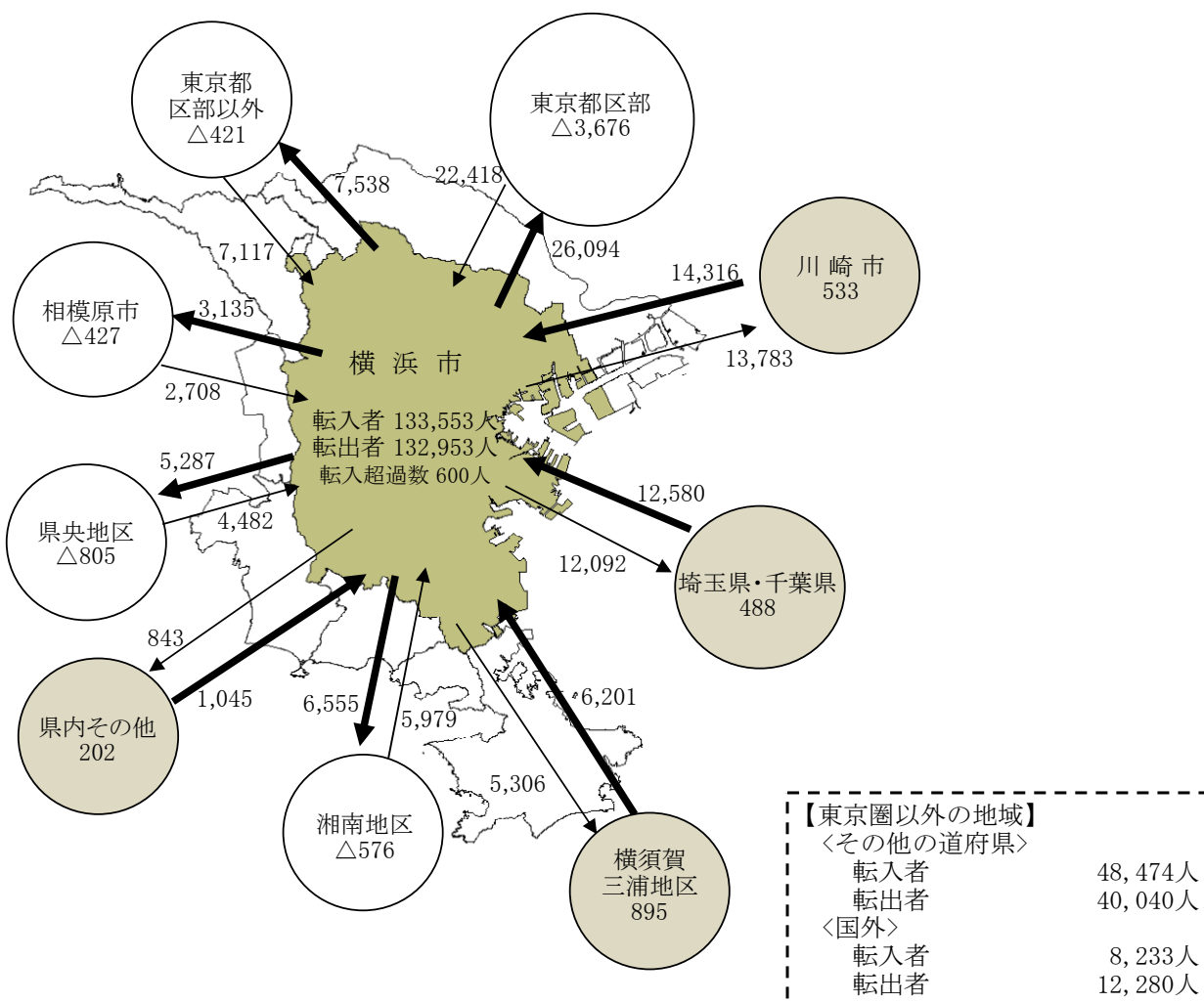
・東京都区部への転出超過が目立つ

市外移動を移動前・移動後の住所地別にみると、都道府県別では転入・転出とも神奈川県、東京都、千葉県、埼玉県の順で、これら東京圏内だけで転入者の57.5% (76,846人)、転出者の60.6% (80,633人) を占めています。

横浜市の転入超過数 (600人) を地域別にみると、東京圏内では、横須賀・三浦地区 (895人)、川崎市 (533人)、川崎市 (533人)、埼玉県・千葉県 (488人)、県内その他 (202人) の順となっていますが、それ以外の地域は、東京都区部 (転入超過数マイナス3,676人) をはじめ、県央地区 (同マイナス805人)、湘南地区 (同マイナス576人) など、転出超過となっています。

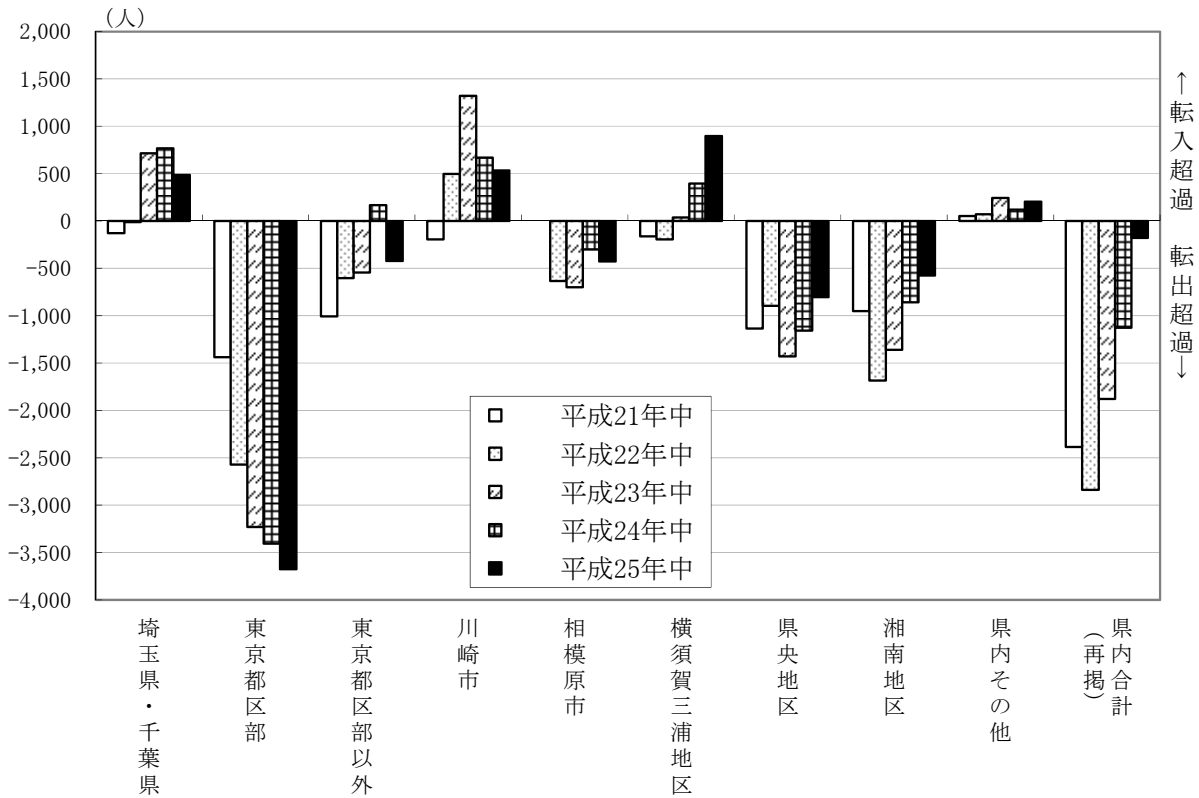
なお、東京圏以外の道府県は8,434人の転入超過、国外は4,047人の転出超過となっています。[図1-9、図1-10、表1-5、表1-10、統計表第16表、第17表]

図1-9 東京圏内の地域別にみた転入・転出者数 (平成25年中)



注) 横浜市の転入・転出者数には「地域不詳」を含む。

図1-10 東京圏内各地域の転入超過数の推移（平成21年中～25年中）



注) 平成21年の相模原市は県央地区で集計している。

表1-5 移動前・移動後の住所地別転入・転出者数の順位（平成25年中）

都道府県			県内・東京都区部								
【転入】		【転入超過】	【転入】		【転入超過】						
1	神奈川県	34,731	1	静岡県	989	1	大田区	4,146	1	横須賀市	946
2	東京都	29,535	2	大阪府	728	2	横須賀市	3,561	2	幸区	299
3	千葉県	6,741	3	兵庫県	583	3	中原区	3,242	3	大田区	272
4	埼玉県	5,839	4	福岡県	510	4	世田谷区	2,957	4	高津区	260
5	大阪府	4,576	5	北海道	509	5	藤沢市	2,801	5	多摩区	127
6	静岡県	3,977	6	愛知県	484	6	川崎区	2,688	6	宮前区	117
7	愛知県	3,966	7	千葉県	452	7	宮前区	2,396	6	平塚市	117
8	福岡県	2,980	8	新潟県	310	8	高津区	2,055	8	小田原市	108
9	兵庫県	2,969	9	福島県	257	9	幸区	1,994	9	三浦市	80
10	北海道	2,903	9	群馬県	257	10	大和市	1,814	10	中原区	69

都道府県			県内・東京都区部								
【転出】		【転出超過】	【転出】		【転出超過】						
1	神奈川県	34,909	1	東京都	4,097	1	大田区	3,874	1	大和市	728
2	東京都	33,632	2	神奈川県	178	2	藤沢市	3,326	2	藤沢市	525
3	千葉県	6,289	3	沖縄県	145	3	世田谷区	3,306	3	港区	438
4	埼玉県	5,803	4	佐賀県	34	4	中原区	3,173	4	江東区	404
5	大阪府	3,848	5	川崎区	2,852	5	世田谷区	349
6	愛知県	3,482	6	横須賀市	2,615	6	渋谷区	348
7	静岡県	2,988	7	大和市	2,542	7	品川区	345
8	福岡県	2,470	8	宮前区	2,279	8	目黒区	317
9	北海道	2,394	9	品川区	2,149	9	東京都中央区	288
10	兵庫県	2,386	10	高津区	1,795	10	茅ヶ崎市	269

注) 「神奈川県」には、横浜市内の移動は含まない。

(3) 市内移動

・隣接区への移動が56.3%

市内移動（区間移動）73,269人を移動前・移動後の住所地別にみると、隣接区への移動が41,214人（56.3%）と全体の半数以上を占めています。

区間ごとに移動数をみると、図1-11の区間において移動数が多くなっています。

図1-11 市内（区間）移動数（平成25年中）

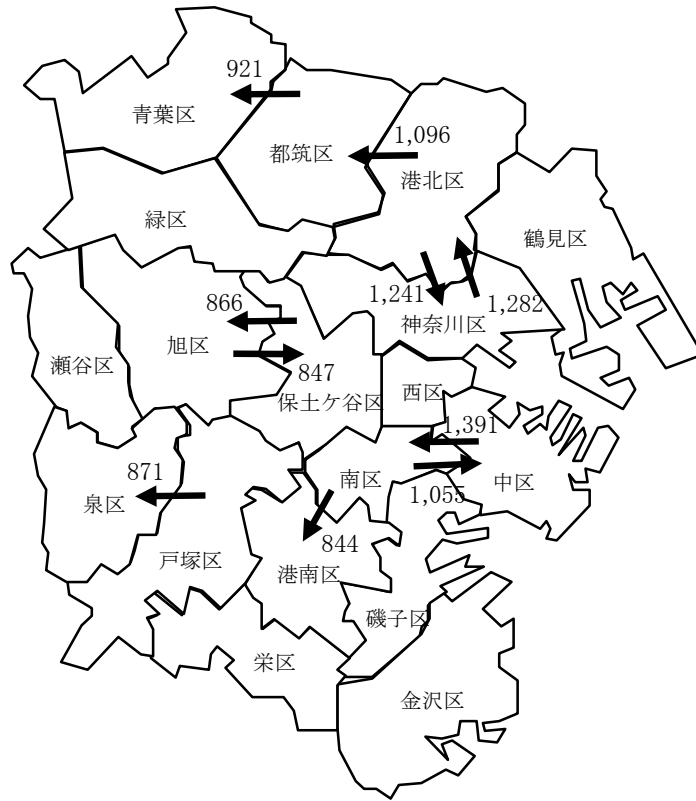


表1-6 移動前・移動後の住所地別市内（区間）移動者数（平成25年中）

移動前の 住所地	移 動 後 の 住 所 地								
	鶴 見 区	神 奈 川 区	西 区	中 区	南 区	港 南 区	保 土 ヶ 谷 区	旭 区	磯 子 区
鶴 見 区	...	708	143	289	243	122	169	198	185
神 奈 川 区	761	...	466	455	332	217	679	382	223
西 区	142	520	...	519	395	126	550	177	163
中 区	280	465	545	...	1 391	254	238	158	578
南 区	251	412	408	1 055	...	844	445	186	572
港 南 区	151	272	135	237	771	...	201	169	708
保 土 ヶ 谷 区	208	568	487	264	459	165	...	866	155
旭 区	204	274	170	181	188	115	847	...	117
磯 子 区	184	237	128	455	543	675	132	137	...
金 沢 区	139	202	125	188	311	376	121	98	696
港 北 区	739	1 241	203	258	251	143	301	241	169
緑 区	149	322	49	106	82	71	159	390	45
青 葉 区	124	189	71	112	58	80	71	199	42
都 筑 区	130	250	71	97	99	58	69	148	85
戸 塚 区	187	239	181	187	330	449	457	294	192
栄 区	88	95	81	137	182	435	84	120	255
泉 区	89	131	67	70	93	128	190	334	79
瀬 谷 区	96	120	58	70	70	58	161	579	54

注) 各区間の移動者数は、移動後の住所地からみた転入者数である。

市内移動（区間移動）による転入・転出の差である転入超過数をみると、緑区（466人）及び磯子区（457人）で多くなっています。また、区間別に転入超過数をみると、特に、図1-12の区間において差が大きくなっています。

〔図1-11、図1-12、表1-6、統計表第17表〕

図1-12 市内（区間）移動の転入超過数（平成25年中）

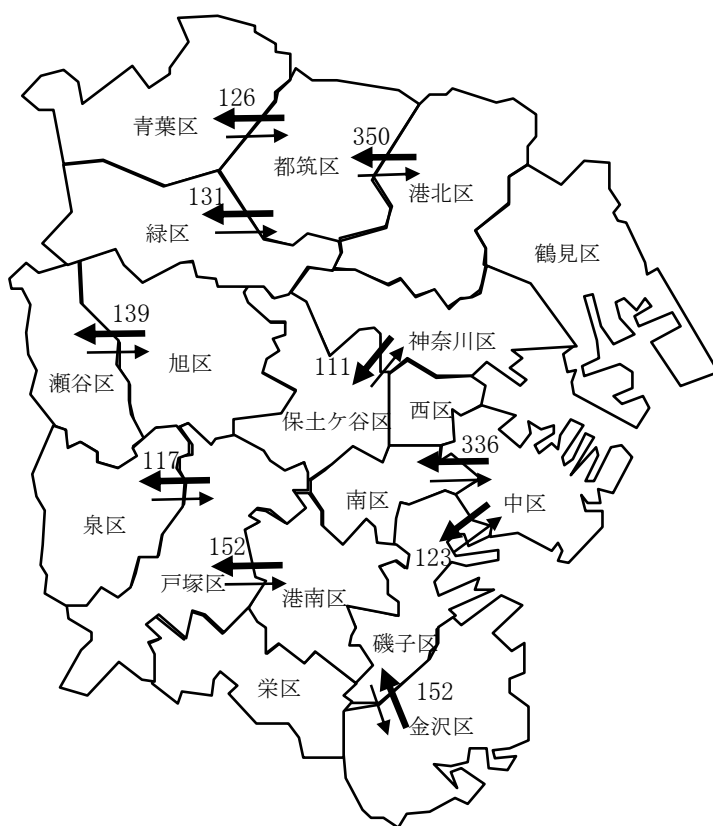


表1-6

移動後の住所地										移動前の住所地
金沢区	港北区	緑区	青葉区	都筑区	戸塚区	栄区	泉区	瀬谷区	鶴見区	
80	789	196	84	147	157	64	73	93	鶴見区	
118	1 282	398	193	266	246	91	107	124	神奈川区	
100	208	67	57	87	155	60	40	64	西区	
163	269	81	85	110	156	111	73	71	中区	
229	277	97	95	93	400	105	143	96	南区	
333	198	81	69	101	601	433	165	78	港南区	
99	264	145	70	141	465	104	173	229	保土ヶ谷区	
73	232	400	152	152	268	69	365	718	旭区	
544	170	52	54	59	169	215	68	44	磯子区	
...	223	55	79	79	154	158	58	50	金沢区	
125	...	493	419	1 096	203	84	90	105	港北区	
37	407	...	700	443	77	43	38	91	緑区	
39	366	792	...	795	105	31	57	61	青葉区	
59	746	574	921	...	84	29	34	55	都筑区	
137	222	65	111	91	...	464	871	124	戸塚区	
175	84	63	52	56	542	...	90	37	栄区	
52	102	31	61	74	754	91	...	292	泉区	
46	110	80	68	39	132	26	302	...	瀬谷区	

(4) 年齢別、男女別社会移動

・移動が多い20～30歳代

社会移動について男女別に割合をみると、市外転入は男53.9%、女46.1%、市外転出は男54.7%、女45.3%となっているのに対し、市内移動は男51.5%、女48.5%と、市外移動の方が市内移動に比べ男の占める割合が高くなっています。[図1-13、表1-7]

図1-13 社会移動数の男女別割合（平成25年中）

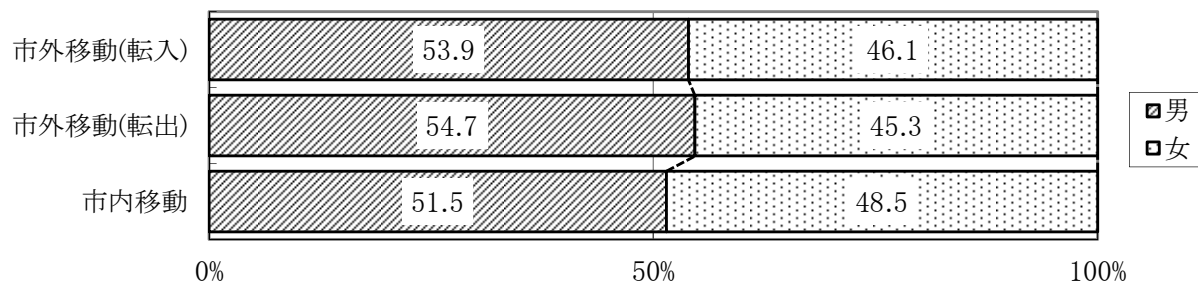


表1-7 年齢、男女別社会移動数（平成25年中）

男女年齢	社会移動数					割合 (%)			
	移動総数	市外移動			市内移動	総数	市外移動		市内移動
		転入	転出	転入超過数			転入	転出	
総数									
総数	339,775	133,553	132,953	600	73,269	100.0	100.0	100.0	100.0
0～14歳	39,645	15,013	16,132	△ 1,119	8,500	11.7	11.2	12.1	11.6
15～19	9,833	4,653	2,833	1,820	2,347	2.9	3.5	2.1	3.2
20～24	39,243	18,070	14,723	3,347	6,450	11.5	13.5	11.1	8.8
25～29	64,866	26,023	26,220	△ 197	12,623	19.1	19.5	19.7	17.2
30～34	54,733	21,227	21,613	△ 386	11,893	16.1	15.9	16.3	16.2
35～39	38,828	14,870	15,711	△ 841	8,247	11.4	11.1	11.8	11.3
40～44	27,129	10,375	10,787	△ 412	5,967	8.0	7.8	8.1	8.1
45～49	17,450	6,709	6,857	△ 148	3,884	5.1	5.0	5.2	5.3
50～54	11,862	4,328	4,758	△ 430	2,776	3.5	3.2	3.6	3.8
55～59	8,596	3,092	3,383	△ 291	2,121	2.5	2.3	2.5	2.9
60～64	8,174	2,647	3,387	△ 740	2,140	2.4	2.0	2.5	2.9
65歳以上	19,416	6,546	6,549	△ 3	6,321	5.7	4.9	4.9	8.6
男									
総数	182,458	72,042	72,702	△ 660	37,714	100.0	100.0	100.0	100.0
0～14歳	20,228	7,751	8,177	△ 426	4,300	11.1	10.8	11.2	11.4
15～19	5,474	2,698	1,574	1,124	1,202	3.0	3.7	2.2	3.2
20～24	21,000	9,646	8,299	1,347	3,055	11.5	13.4	11.4	8.1
25～29	34,246	13,850	14,120	△ 270	6,276	18.8	19.2	19.4	16.6
30～34	28,673	11,036	11,380	△ 344	6,257	15.7	15.3	15.7	16.6
35～39	21,038	8,000	8,543	△ 543	4,495	11.5	11.1	11.8	11.9
40～44	15,448	5,916	6,208	△ 292	3,324	8.5	8.2	8.5	8.8
45～49	10,543	4,151	4,272	△ 121	2,120	5.8	5.8	5.9	5.6
50～54	7,259	2,723	2,988	△ 265	1,548	4.0	3.8	4.1	4.1
55～59	5,219	1,952	2,101	△ 149	1,166	2.9	2.7	2.9	3.1
60～64	4,880	1,614	2,031	△ 417	1,235	2.7	2.2	2.8	3.3
65歳以上	8,450	2,705	3,009	△ 304	2,736	4.6	3.8	4.1	7.3
女									
総数	157,317	61,511	60,251	1,260	35,555	100.0	100.0	100.0	100.0
0～14歳	19,417	7,262	7,955	△ 693	4,200	12.3	11.8	13.2	11.8
15～19	4,359	1,955	1,259	696	1,145	2.8	3.2	2.1	3.2
20～24	18,243	8,424	6,424	2,000	3,395	11.6	13.7	10.7	9.5
25～29	30,620	12,173	12,100	73	6,347	19.5	19.8	20.1	17.9
30～34	26,060	10,191	10,233	△ 42	5,636	16.6	16.6	17.0	15.9
35～39	17,790	6,870	7,168	△ 298	3,752	11.3	11.2	11.9	10.6
40～44	11,681	4,459	4,579	△ 120	2,643	7.4	7.2	7.6	7.4
45～49	6,907	2,558	2,585	△ 27	1,764	4.4	4.2	4.3	5.0
50～54	4,603	1,605	1,770	△ 165	1,228	2.9	2.6	2.9	3.5
55～59	3,377	1,140	1,282	△ 142	955	2.1	1.9	2.1	2.7
60～64	3,294	1,033	1,356	△ 323	905	2.1	1.7	2.3	2.5
65歳以上	10,966	3,841	3,540	301	3,585	7.0	6.2	5.9	10.1

社会移動を年齢別にみると、市外からの転入では「25～29歳」が26,023人（転入者の19.5%）と最も多く、次いで「30～34歳」が21,227人（同15.9%）、「20～24歳」が18,070人（同13.5%）、「35～39歳」が14,870人（同11.1%）となっており、20～30歳代で全体の約6割を占めています。市外への転出及び市内移動についてもほぼ同じ傾向で、20～30歳代の社会移動が顕著であることが分かります。

平成15年中、20年中及び25年中の年齢別転入超過数を見ると、各年ともに「20～24歳」が最も高く、以降「60～64歳」まで減少傾向となっています。特に25年中は、転入超過は「15～19歳」と「20～24歳」のみで、「25～29歳」以上は転出超過となっています。

〔図1-13、図1-14、図1-15、表1-7〕

図1-14 年齢別社会移動数（平成25年中）

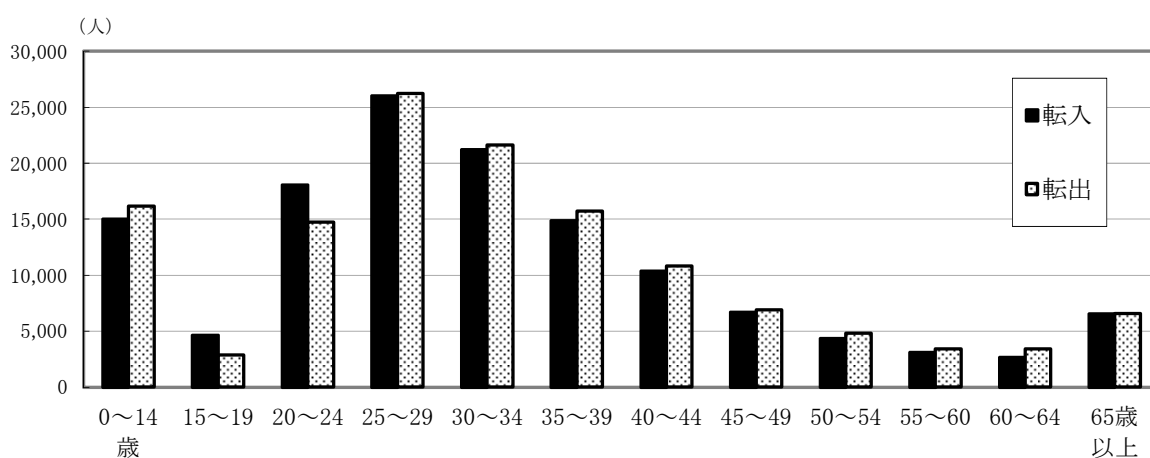
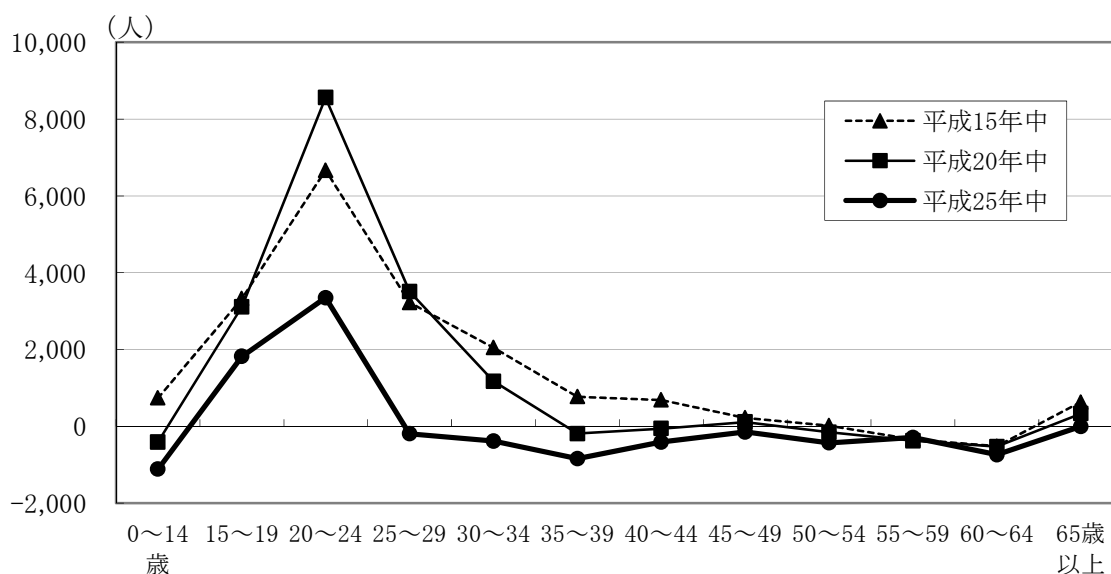


図1-15 年齢別転入超過数（平成15年中、20年中、25年中）



3 自然動態

・自然増加数と自然増加率は引き続き減少傾向

自然動態をみると、出生は30,753人（前年比870人減）、死亡は29,218人（同55人増）で、出生から死亡を差し引いた自然増加数は1,535人（同925人減）となっており、自然増加数は減少傾向が続いています。

自然動態の推移を人口1,000人当たりの比率でみると、出生率（人口1,000人当たりの出生数）は終戦直後の第1次ベビーブーム後の急激な低下から昭和30年代後半になると上昇に転じ、第2次ベビーブームの昭和47年には22.6まで上昇しました。その後は緩やかな低下傾向にあり、平成13年には10.0を割り込み、25年には過去最低の8.3となりました。

一方、死亡率（人口1,000人当たりの死亡数）は昭和50年代から緩やかな上昇傾向にあり、平成25年は前年の7.901より0.002ポイント高い7.903となっています。

このような推移から、出生率と死亡率との差は縮小してきており、自然増加率（出生率－死亡率）は前年の0.7より0.3ポイント低い0.4となり、引き続き減少傾向にあります。

[図1-16、表1-8]

図1-16 出生率、死亡率、自然増加率の推移（昭和22年中～平成25年中）

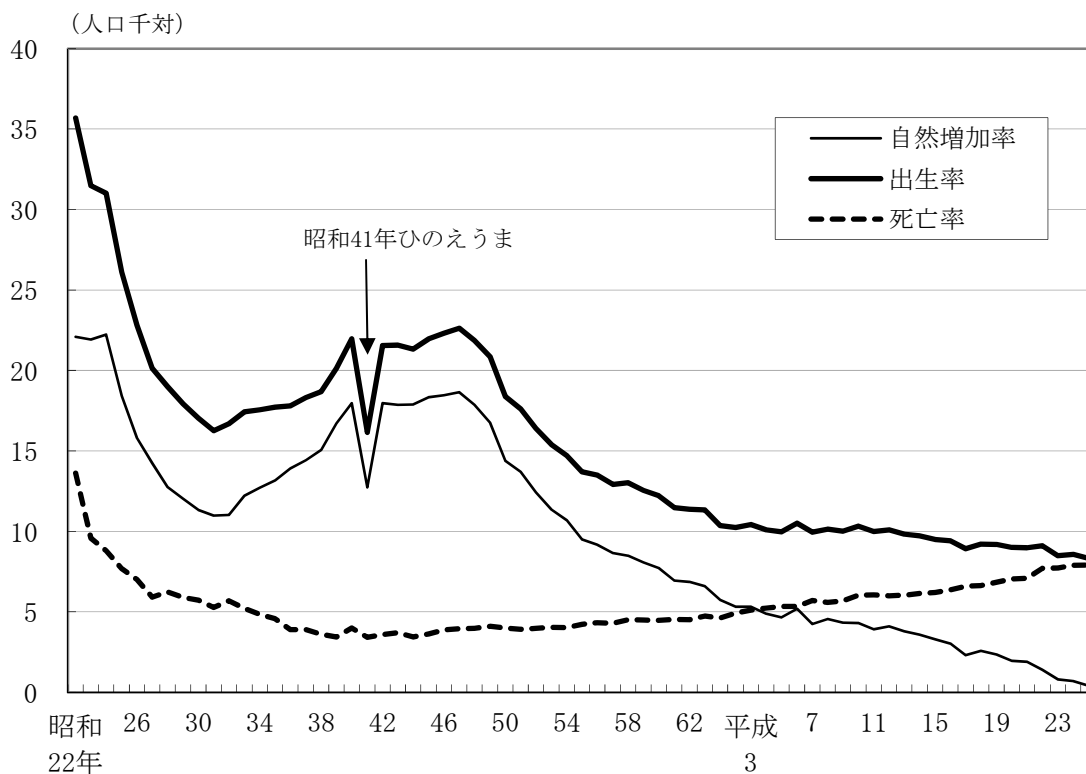


表1-8 自然動態の推移（昭和22年中～平成25年中）

年 中	自 然 動 態			比率（人口千対）		
	自 然 増加数	出 生	死 亡	自 然 増加率	出生率	死亡率
昭和22年中	17,031	27,529	10,498	22.1	35.7	13.6
23	18,136	26,058	7,922	21.9	31.5	9.6
24	19,417	27,116	7,699	22.2	30.9	8.8
25	16,980	24,063	7,083	18.4	26.1	7.7
26	15,253	22,008	6,755	15.8	22.8	7.0
27	14,414	20,400	5,986	14.2	20.1	5.9
28	13,379	19,922	6,543	12.8	19.0	6.2
29	13,119	19,537	6,418	12.0	17.9	5.9
30	12,706	19,118	6,412	11.3	17.0	5.7
31	12,641	18,717	6,076	11.0	16.3	5.3
32	13,025	19,736	6,711	11.0	16.7	5.7
33	14,936	21,303	6,367	12.2	17.4	5.2
34	16,094	22,220	6,126	12.7	17.6	4.8
35	17,272	23,272	6,000	13.2	17.7	4.6
36	19,306	24,710	5,404	13.9	17.8	3.9
37	20,973	26,647	5,674	14.4	18.3	3.9
38	23,080	28,617	5,537	15.1	18.7	3.6
39	26,857	32,374	5,517	16.7	20.1	3.4
40	30,444	37,213	6,769	18.0	22.0	4.0
41	23,012	29,197	6,185	12.7	16.2	3.4
42	33,704	40,433	6,729	18.0	21.6	3.6
43	35,124	42,433	7,309	17.9	21.6	3.7
44	36,980	44,114	7,134	17.9	21.3	3.4
45	39,755	47,622	7,867	18.3	22.0	3.6
46	41,749	50,490	8,741	18.5	22.3	3.9
47	44,176	53,562	9,386	18.7	22.6	4.0
48	43,745	53,504	9,759	17.9	21.9	4.0
49	42,072	52,394	10,322	16.7	20.9	4.1
50	37,045	47,353	10,308	14.4	18.4	4.0
51	36,003	46,322	10,319	13.7	17.6	3.9
52	33,151	43,758	10,607	12.4	16.4	4.0
53	30,695	41,625	10,930	11.3	15.4	4.0
54	29,323	40,306	10,983	10.7	14.7	4.0
55	26,294	37,977	11,683	9.5	13.7	4.2
56	25,470	37,493	12,023	9.2	13.5	4.3
57	24,339	36,381	12,042	8.6	12.9	4.3
58	24,264	37,179	12,915	8.5	13.0	4.5
59	23,433	36,466	13,033	8.1	12.6	4.5
60	22,838	36,063	13,225	7.7	12.2	4.5
61	20,865	34,461	13,596	6.9	11.5	4.5
62	20,971	34,773	13,802	6.9	11.4	4.5
63	20,567	35,321	14,754	6.6	11.3	4.7
平成元	18,178	32,774	14,596	5.8	10.4	4.6
2	17,018	32,746	15,728	5.3	10.2	4.9
3	17,161	33,651	16,490	5.3	10.4	5.1
4	15,883	32,896	17,013	4.9	10.1	5.2
5	15,227	32,692	17,465	4.6	10.0	5.3
6	17,060	34,617	17,557	5.2	10.5	5.3
7	14,036	32,899	18,863	4.2	10.0	5.7
8	15,080	33,567	18,487	4.6	10.1	5.6
9	14,350	33,273	18,923	4.3	10.0	5.7
10	14,392	34,547	20,155	4.3	10.3	6.0
11	13,232	33,676	20,444	3.9	10.0	6.1
12	13,932	34,295	20,363	4.1	10.1	6.0
13	13,029	33,722	20,693	3.8	9.8	6.0
14	12,406	33,699	21,293	3.6	9.7	6.1
15	11,523	33,271	21,748	3.3	9.5	6.2
16	10,727	33,238	22,511	3.0	9.4	6.4
17	8,244	31,722	23,478	2.3	8.9	6.6
18	9,246	33,023	23,777	2.6	9.2	6.6
19	8,488	33,122	24,634	2.4	9.2	6.8
20	7,142	32,694	25,552	2.0	9.0	7.0
21	6,922	32,816	25,894	1.9	9.0	7.1
22	5,174	32,747	27,573	1.4	8.9	7.5
23	2,808	31,296	28,488	0.8	8.5	7.7
24	2,460	31,623	29,163	0.7	8.6	7.9
25	1,535	30,753	29,218	0.4	8.3	7.9

注) 比率の算出に用いた人口は、各年1月1日現在人口である。

4 行政区の人口動態

・社会増加数、自然増加数ともに多い港北区と都筑区

平成25年中の各区の人口動態を社会動態と自然動態に区分してみると、社会増加数がプラスとなったのは鶴見区(2,870人)、港北区(2,727人)、都筑区(793人)などの10区となっています。また、自然増加数がプラスとなったのは港北区(1,385人)、都筑区(1,071人)、青葉区(863人)などの8区となっています。

社会増加数と自然増加数について、総人口(平成25年1月1日現在)との比率である社会増加率(注)及び自然増加率(注)でみると、社会増加率は鶴見区が最も高く、自然増加率は都筑区が最も高くなっています。

(注) 社会増加率 = 社会増加数 ÷ 総人口 × 100

自然増加率 = 自然増加数 ÷ 総人口 × 100

図1-17 行政区別の社会増加率及び自然増加率の分布(平成25年中)

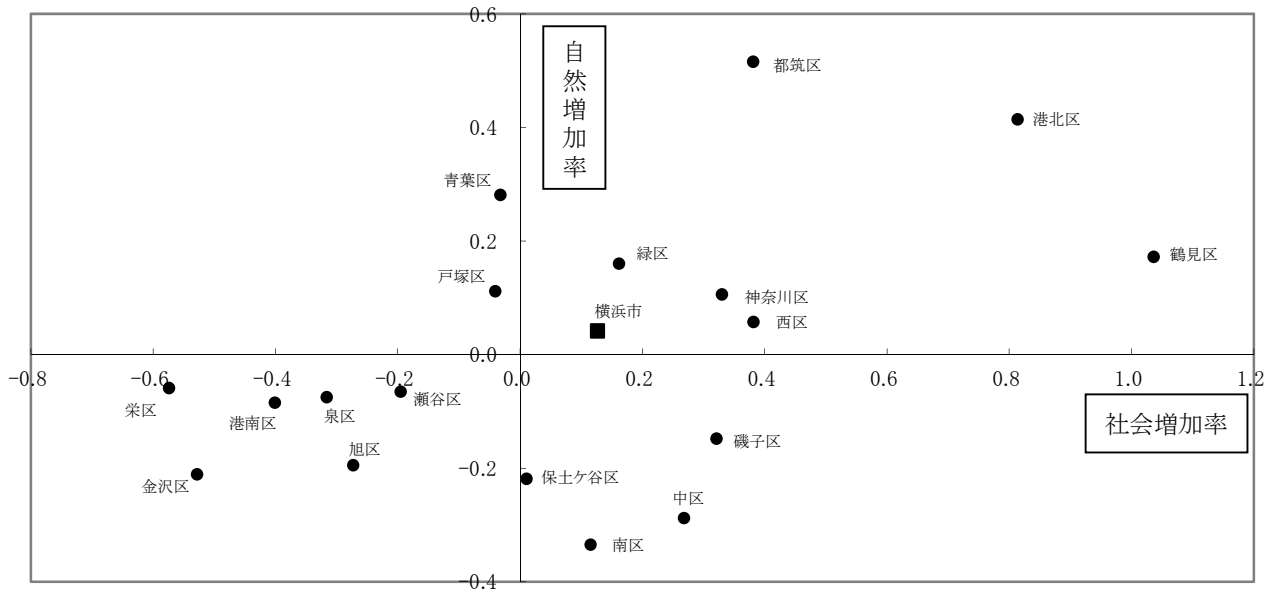


表1-9 行政区別の人口動態(平成25年中)

地域	人口増加数	社会動態						自然動態		
		社会増加数	市外移動		市内(区間)移動		その他の増減	自然増加数	出生	死亡
			転入	転出	転入	転出				
横浜市	6,223	4,688	133,553	132,953	73,269	73,183	4,002	1,535	30,753	29,218
鶴見区	3,346	2,870	13,816	11,359	3,922	3,734	225	476	2,704	2,228
神奈川区	1,018	772	10,012	9,466	6,245	6,337	318	246	2,069	1,823
西区	425	370	4,737	4,522	3,388	3,425	192	55	904	849
中区	△ 29	395	6,764	6,648	4,680	5,016	615	△ 424	1,122	1,546
南区	△ 427	226	6,040	6,169	5,798	5,703	260	△ 653	1,349	2,002
港南区	△1,063	△ 877	5,139	5,665	4,316	4,699	32	△ 186	1,543	1,729
保土ヶ谷区	△ 426	23	5,779	6,065	4,874	4,854	289	△ 449	1,418	1,867
旭区	△1,168	△ 680	5,221	6,104	4,676	4,518	45	△ 488	1,839	2,327
磯子区	280	520	4,594	4,669	4,318	3,861	138	△ 240	1,235	1,475
金沢区	△1,523	△1,087	5,738	6,242	2,409	3,108	116	△ 436	1,342	1,778
港北区	4,112	2,727	18,261	15,867	5,949	6,153	537	1,385	3,490	2,105
緑区	574	289	5,972	6,417	3,670	3,204	268	285	1,540	1,255
青葉区	766	△ 97	14,532	15,189	3,270	3,190	480	863	2,618	1,755
都筑区	1,864	793	8,323	7,960	3,829	3,508	109	1,071	2,044	973
戸塚区	195	△ 109	8,312	8,694	4,668	4,599	204	304	2,347	2,043
栄区	△ 785	△ 711	3,931	4,269	2,178	2,572	21	△ 74	976	1,050
泉区	△ 608	△ 491	3,443	4,154	2,747	2,634	107	△ 117	1,214	1,331
瀬谷区	△ 328	△ 245	2,939	3,494	2,332	2,068	46	△ 83	999	1,082

横浜市の市外転入・転出数について、移動前・移動後の住所地別にみると、東京圏内では「東京都区部」が多くなっています。

市外転入・転出数について、行政区別にその他の地域をみると、「川崎市」の鶴見区、港北区、青葉区、「横須賀三浦地区」の金沢区、「湘南地区」の戸塚区など多くなっています。

東京圏外では、どの区も「他の都道府県」が総数の約2～5割を占めています。「国外」の移動数の割合は、ほとんどの区で10%前後となっており、転入では青葉区の9.3%、転出では中区の15.5%が高くなっています。

[図1-17、表1-9、表1-10、統計表第6表、第7表]

表1-10 行政区別の市外転入・転出数（平成25年中）

地域	総数	東京圏内の地域									東京圏外	
		川崎市	相模原市	横須賀三浦地区	県央地区	湘南地区	県内その他	東京都区部	東京都区部以外	埼玉県千葉県	他の道府県 (地域不詳含む)	国外
転入												
横浜市	133,553	14,316	2,708	6,201	4,482	5,979	1,045	22,418	7,117	12,580	48,474	8,233
鶴見区	13,816	2,850	158	320	250	350	76	3,009	584	1,434	4,308	477
神奈川区	10,012	933	241	383	295	347	81	1,912	530	1,010	3,791	489
西区	4,737	371	75	211	161	243	49	1,001	242	436	1,670	278
中区	6,764	503	112	301	177	298	68	1,437	295	710	2,415	448
南区	6,040	455	115	436	190	266	50	967	330	657	2,239	335
港南区	5,139	336	89	479	155	295	41	703	273	505	1,968	295
保土ヶ谷区	5,779	454	108	269	284	318	50	932	264	573	2,214	313
旭区	5,221	326	157	211	456	306	43	668	266	470	1,834	484
磯子区	4,594	307	89	404	146	249	30	697	187	452	1,699	334
金沢区	5,738	243	60	1,064	116	204	39	684	193	529	2,219	387
港北区	18,261	2,372	318	345	302	507	127	4,076	1,020	1,744	6,595	855
緑区	5,972	555	308	112	240	216	48	676	613	615	2,215	374
青葉区	14,532	2,422	331	120	346	333	64	2,473	1,062	1,042	4,989	1,350
青都筑区	8,323	985	124	125	159	175	47	1,068	428	713	3,924	575
戸塚区	8,312	626	128	525	240	785	96	1,108	322	815	3,098	569
栄泉区	3,931	203	85	612	128	443	42	413	238	326	1,177	264
泉区	3,443	221	86	189	306	436	45	321	135	301	1,169	234
瀬谷区	2,939	154	124	95	531	208	49	273	135	248	950	172
転出												
横浜市	132,953	13,783	3,135	5,306	5,287	6,555	843	26,094	7,538	12,092	40,040	12,280
鶴見区	11,359	2,374	160	239	210	298	48	2,305	479	1,248	3,192	806
神奈川区	9,466	906	187	286	223	382	59	2,288	475	893	3,023	744
西区	4,522	326	94	138	130	180	33	1,176	178	387	1,274	606
中区	6,648	450	119	263	136	251	30	1,673	262	597	1,839	1,028
南区	6,169	428	133	382	172	306	64	1,174	289	609	1,841	771
港南区	5,665	360	91	431	185	330	43	1,022	267	599	1,939	398
保土ヶ谷区	6,065	495	126	194	319	315	53	1,237	297	610	1,833	586
旭区	6,104	458	201	174	642	394	58	910	360	605	1,748	554
磯子区	4,669	377	76	334	122	283	39	776	212	490	1,496	464
金沢区	6,242	375	92	887	138	252	42	1,078	239	590	2,048	501
港北区	15,867	1,976	292	260	280	458	58	4,017	905	1,312	4,990	1,319
緑区	6,417	610	400	112	344	240	27	951	739	557	1,983	454
青葉区	15,189	2,323	449	155	545	274	45	3,168	1,368	1,130	4,149	1,583
青都筑区	7,960	945	191	86	190	191	53	1,367	477	718	2,954	788
戸塚区	8,694	641	172	506	326	928	90	1,420	374	735	2,704	798
栄泉区	4,269	259	104	624	94	602	48	545	209	346	1,119	319
泉区	4,154	237	90	155	430	607	30	608	205	367	1,082	343
瀬谷区	3,494	243	158	80	801	264	23	379	203	299	826	218

5 大都市の人口動態

・社会増加率、自然増加率ともに第9位

大都市（政令指定都市及び東京都区部）の平成25年中の人口動態をみると、人口増加率は福岡市が0.97%と最も高く、次いで、東京都区部（0.72%）、さいたま市（0.71%）となっており、横浜市（0.17%）は第10位となっています。また、新潟市、静岡市、浜松市、京都市、堺市、神戸市及び北九州市の7市では人口が減少しています。

横浜市について、社会増加率と自然増加率との区分で見ると、社会増加率が0.13%、自然増加率が0.04%でともに第9位となっています。

大都市について、社会増加数と自然増加数をみると、社会増加数、自然増加数ともにマイナスとなったのが静岡市、浜松市、堺市及び北九州市、自然増加数だけがマイナスとなったのが札幌市、新潟市、名古屋市、京都市、大阪市及び神戸市で、横浜市を含む他の11都市では、社会増加数、自然増加数ともにプラスとなっています。〔図1-18、表1-11〕

図1-18 大都市の人口増加の状況（平成25年中）

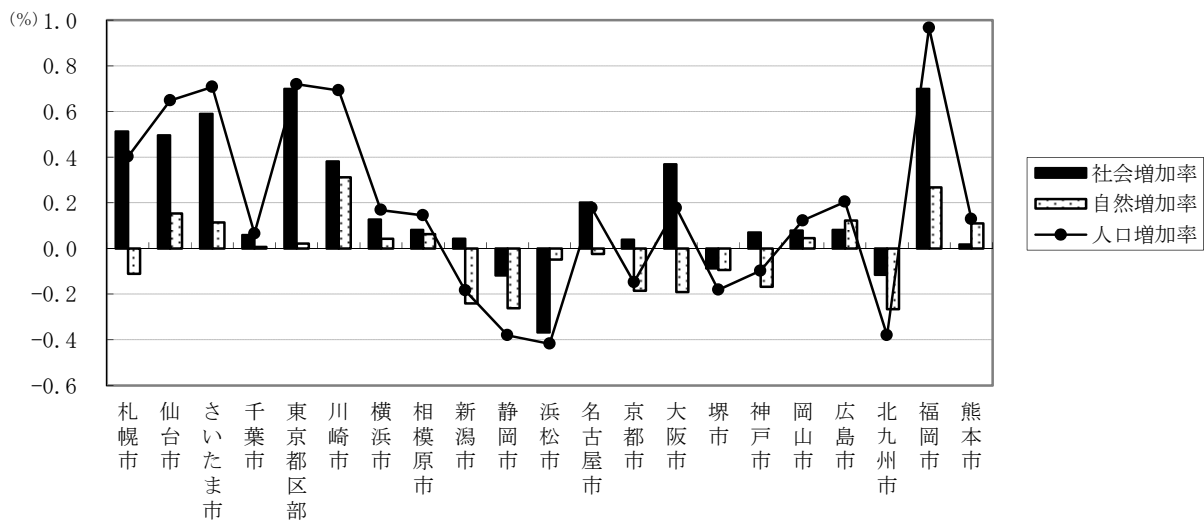


表1-11 大都市の人口動態（平成25年中）

地域	平成25年 1月1日 現在人口	平成25年中の人口動態								平成26年 1月1日 現在人口
		人口 増加数	社会動態			自然動態				
			社会 増加数	市外移動 転入	市外移動 転出	その他 の増減	自然 増加数	出生	死亡	
札幌市	1,930,441	7,762	9,898	66,759	57,994	1,133	△ 2,136	14,677	16,813	1,938,203
仙台市	1,063,103	6,892	5,265	69,598	64,264	△ 69	1,627	9,741	8,114	1,069,995
さいたま市	1,236,451	8,698	7,293	57,289	49,406	△ 590	1,405	10,944	9,539	1,245,196
千葉市	963,682	632	566	40,088	38,715	△ 807	66	7,771	7,705	964,314
東京都区部	9,002,488	64,767	62,866	327,036	271,105	6,935	1,901	78,964	77,063	9,067,255
川崎市	1,440,124	9,973	5,482	83,675	74,933	△ 3,260	4,491	14,575	10,084	1,450,097
横浜市	3,697,035	6,223	4,688	133,553	132,953	4,088	1,535	30,753	29,218	3,703,258
相模原市	720,111	1,044	587	29,308	28,721	△ 587	457	5,735	5,278	721,155
新潟市	811,502	△ 1,614	340	18,664	18,319	△ 345	△ 1,954	6,318	8,272	810,007
静岡市	711,856	△ 2,709	△ 840	18,934	19,343	△ 431	△ 1,869	5,537	7,406	709,147
浜松市	796,163	△ 3,328	△ 2,932	21,376	24,309	1	△ 396	7,169	7,565	792,835
名古屋市	2,268,072	4,003	4,554	93,316	86,327	△ 6,989	△ 551	19,932	20,483	2,272,075
京都市	1,472,311	△ 2,182	560	49,967	47,830	△ 1,613	△ 2,742	11,383	14,125	1,470,129
大阪市	2,678,727	4,742	9,871	176,328	166,457	△ 9,871	△ 5,129	23,187	28,316	2,683,469
堺市	842,539	△ 1,527	△ 735	25,823	26,558	△ 735	△ 792	7,091	7,883	841,012
神戸市	1,541,749	△ 1,507	1,079	49,697	47,100	△ 2,597	△ 2,586	12,437	15,023	1,540,242
岡山市	713,094	870	554	25,568	25,014	△ 554	316	6,752	6,436	713,964
広島市	1,181,858	2,411	963	40,211	38,660	△ 588	1,448	11,210	9,762	1,184,269
北九州市	971,236	△ 3,697	△ 1,116	43,386	45,555	1,053	△ 2,581	8,133	10,714	967,539
福岡市	1,495,437	14,456	10,447	80,074	67,939	△ 1,705	4,009	14,918	10,909	1,509,893
熊本	738,681	947	133	43,822	43,689	△ 133	814	7,272	6,458	739,628

注1) 横浜市以外の都市の数値については、原則、各市の公表数値による。

注2) 社会動態については、各市で取扱いが異なる場合がある。

6 外国人人口の動き

・外国人人口が多い中区

平成25年12月31日現在の外国人人口は75,300人で、総人口の2.0%を占め、前年に比べ201人（0.3%）の増加となっています。

行政区別にみると、中区が14,894人と際立って多く、市の外国人人口の19.8%、中区の総人口の10.1%を占めています。

国籍別にみると、中国が31,236人と最も多く、次いで韓国・朝鮮の13,994人、フィリピンの6,642人の順で、この上位3か国で全体の約7割を占めています。

[図1-19、表1-12、表1-13]

図1-19 国籍別外国人人口の割合

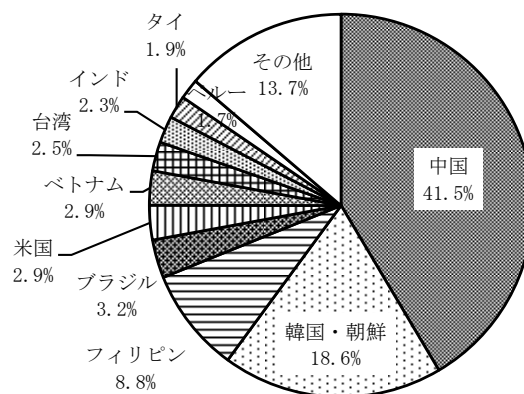


表1-12 行政区別の外国人人口（平成23年～平成25年）

各年12月31日現在

地域	外国人人口			増加数		増加率 (%)		平成25年	
	23年	24年	25年	24年中	25年中	24年中	25年中	区別の割合 (%)	総人口に占める割合 (%) ¹⁾
横浜市	77,295	75,099	75,300	△ 2,196	201	△ 2.8	0.3	100.0	2.0
鶴見区	9,630	9,165	9,485	△ 465	320	△ 4.8	3.5	12.6	3.4
神奈川区	4,912	4,774	4,880	△ 138	106	△ 2.8	2.2	6.5	2.1
西区	3,606	3,563	3,526	△ 43	△ 37	△ 1.2	△ 1.0	4.7	3.6
中区	15,467	15,060	14,894	△ 407	△ 166	△ 2.6	△ 1.1	19.8	10.1
南区	7,671	7,370	7,584	△ 301	214	△ 3.9	2.9	10.1	3.9
港南区	2,152	2,081	2,055	△ 71	△ 26	△ 3.3	△ 1.2	2.7	0.9
保土ヶ谷区	4,236	4,162	4,205	△ 74	43	△ 1.7	1.0	5.6	2.1
旭区	2,151	2,056	2,039	△ 95	△ 17	△ 4.4	△ 0.8	2.7	0.8
磯子区	3,289	3,200	3,218	△ 89	18	△ 2.7	0.6	4.3	2.0
金沢区	2,477	2,284	2,183	△ 193	△ 101	△ 7.8	△ 4.4	2.9	1.1
港北区	5,129	5,064	5,082	△ 65	18	△ 1.3	0.4	6.7	1.5
緑区	2,378	2,475	2,570	97	95	4.1	3.8	3.4	1.4
青葉区	3,314	3,229	3,112	△ 85	△ 117	△ 2.6	△ 3.6	4.1	1.0
都筑区	2,641	2,588	2,524	△ 53	△ 64	△ 2.0	△ 2.5	3.4	1.2
戸塚区	3,197	3,063	3,024	△ 134	△ 39	△ 4.2	△ 1.3	4.0	1.1
栄区	1,045	974	943	△ 71	△ 31	△ 6.8	△ 3.2	1.3	0.8
泉区	2,570	2,570	2,550	0	△ 20	0.0	△ 0.8	3.4	1.6
瀬谷区	1,430	1,421	1,426	△ 9	5	△ 0.6	0.4	1.9	1.1

1) 総人口に占める割合は、平成26年1月1日現在の推計人口に占める割合。

表1-13 国籍別外国人人口（平成23年～平成25年）

各年12月31日現在

国籍	外国人人口			増加数		増加率 (%)	
	23年	24年	25年	24年中	25年中	24年中	25年中
総数	77,295	75,099	75,300	△ 2,196	201	△ 2.8	0.3
中国	33,577	31,655	31,236	△ 1,922	△ 419	△ 5.7	△ 1.3
韓国・朝鮮	14,979	14,301	13,994	△ 678	△ 307	△ 4.5	△ 2.1
フィリピン	6,777	6,619	6,642	△ 158	23	△ 2.3	0.3
ブラジル	2,880	2,599	2,432	△ 281	△ 167	△ 9.8	△ 6.4
米国	2,386	2,248	2,198	△ 138	△ 50	△ 5.8	△ 2.2
ベトナム	1,884	1,891	2,169	7	278	0.4	14.7
台湾	-	1,181	1,853	1,181	672	-	56.9
インド	1,433	1,541	1,701	108	160	7.5	10.4
タイ	1,465	1,443	1,456	△ 22	13	△ 1.5	0.9
ペルー	1,480	1,330	1,284	△ 150	△ 46	△ 10.1	△ 3.5
その他	10,434	10,291	10,335	△ 143	44	△ 1.4	0.4

注) 平成23年の台湾の数値は中国に含まれている。